

場所打ち杭の孔壁形状 3次元可視化システム T-Pile 3D Monitor



場所打ち杭の掘削孔壁形状を多断面で計測し、3次元で可視化するシステム

調査・設計・解析技術

施工・材料

安全・環境

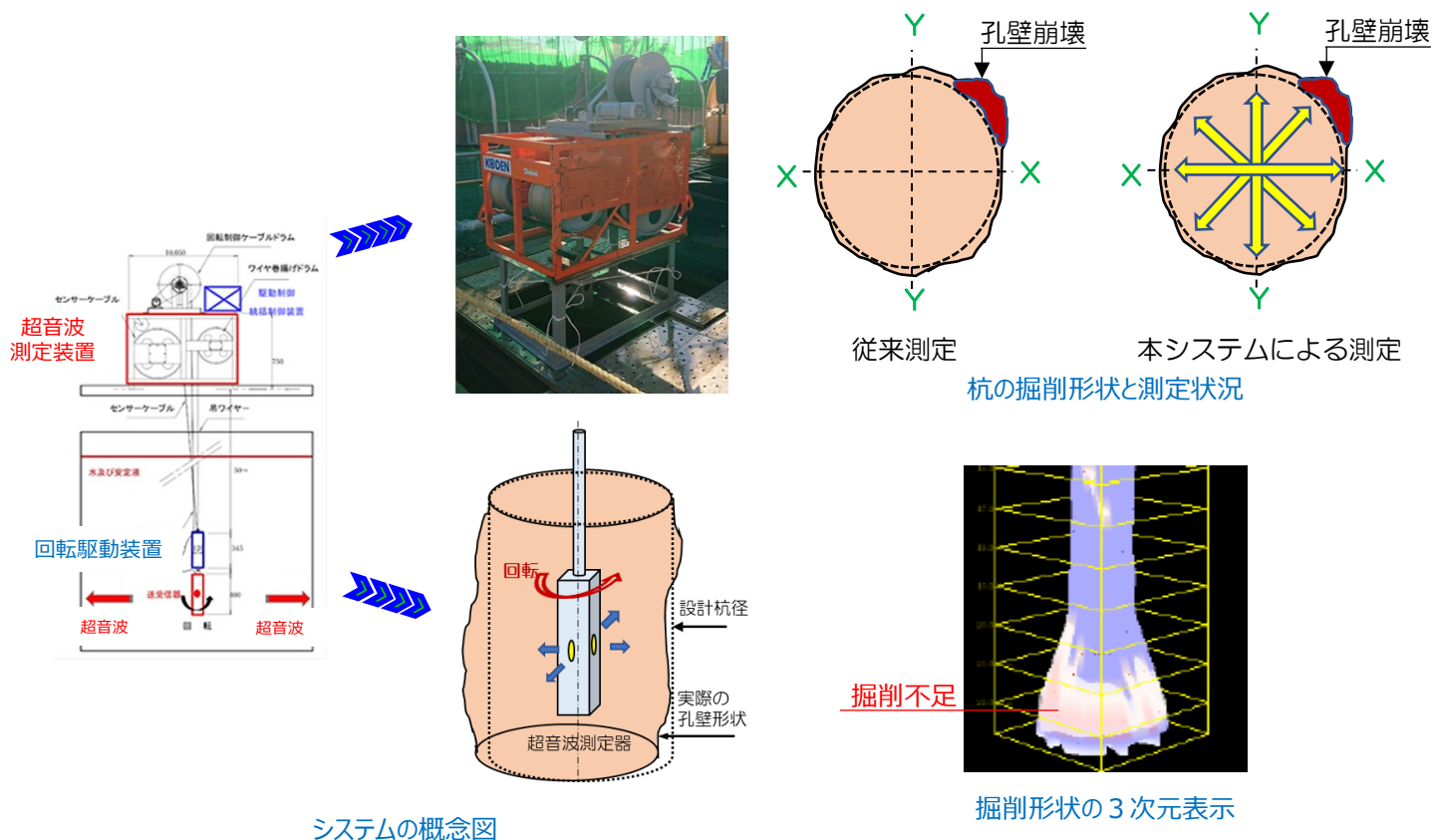
お客様のメリット

- 拡底杭等、近年複雑化する杭の形状に対し、精度の高い掘削形状の計測が出来ます。
- 従来の2断面の計測では把握出来なかった局部的な孔壁崩壊や掘り残しを把握することが出来ます。
- 掘削形状をより正確に計測することにより、精度の高いコンクリート打設量の予測が可能となります。

技術の特徴

本システムは、一般的な超音波測定装置を掘削孔内で回転させることにより、従来から実施されているXYの2断面だけでなく、任意の断面、任意の深度で孔壁の計測を行うものです。本システムの特徴は以下の通りです。

- ① 掘削形状を3次元で可視化することにより、掘削不足箇所や孔壁崩壊箇所が分かりやすく把握できます。
- ② 可視化された掘削形状は、現場にてスマートデバイスにより閲覧出来ます。
- ③ 計測した形状データをもとにコンクリート量を計算することにより、コンクリート使用量の予測精度を高め、残コンを減らすことが出来ます。



実績・事例

阪神なんば線 淀川橋梁改築工事（共同区間）の内令和6年度土木関係主体工事（第1工区）において試験施工実施



▲プレスリリースはこちら